



防災対策推進・公有地の活用と管理について



こなんの未来 ●堀田 繁樹 議員

問 一級河川の現状について

答 一級河川は県が維持管理を行っています。近年土砂堆積・草木繁茂が顕著な状況で、治水対策のため堆積土砂浚渫、伐木など計画的に実施しています。更なる事業促進に向け強く要望していきます。

問 県の一級河川整備計画について

答 野洲川は治水対策のため下流部で築堤護岸工事中で、落合川は、河川改修概略設計に着手中です。

問 市の普通河川維持管理について

答 全国的に豪雨災害が頻発する中、「普通河川堆積土砂管理計画」に基づき、地元要望や緊急性を判断して浚渫を実施しております。

問 災害対策基金条例制定の考えは。

答 災害発生時には、

財政調整基金で対応可能な為、新たな条例制定の予定はありません。大規模災害時には、国・県の支援制度で財源を確保していきます。

問 公有地の活用と管理・処分について市有地の苦情件数は。

答 毎年数件あり、草木管理が主な苦情で、現地確認し速やかに対応しています。

問 市保有財産の状況は。

答 行政財産で目的を終えたものは、用途廃止し、普通財産に変更して売却や貸付を行っています。道路用地は売却処分も含め総合的に検討します。

その他の質問

・ハザードマップによる防災意識の向上について

・内水氾濫浸水想定区域の水路整備について

持続可能な消防団組織づくりと河川愛護活動



湖南維新の会 ●東良 一成 議員

新規消防団員の確保・勧誘について

問 幹部を経験しても退団できない現状をどのように考えているか。

答 団員の平均年齢も上昇傾向にあり、消防団の適切な運営および地域の防災力維持の観点から、積極的な人員確保が不可欠であると認識しています。

問 湖南市内企業への団員募集のアピールは行っているか。

答 本市入札参加にかかる指名業者の登録において消防団員の在籍が加点されることなどもあり、働きかけについてさらに検討していきます。

問 このままでは破綻してしまうことは目に見えているが市の見解は。

答 団員減少、高齢化など様々な課題を克服するため、必要な支援

の継続と持続可能な新たな制度の調査研究を進めていきたいと考えています。

河川愛護活動について

問 河川愛護活動で市民の方にお願したいことは。

答 河川を愛護する意識を共有していただき、草刈りや清掃などが基本になりますが、危険箇所や対応困難な作業は、相談いただきたいと考えています。

問 持続可能な河川愛護活動にするための対応は。

答 今後も地域の声をお聞きし「草刈りパトナー制度」などを活用しつつ、補助制度の見直しや安全対策の強化を図りながら持続可能な仕組みづくりに努めます。